

たまにはいろいろな世界地図を見てみよう

「NHK週刊こどもニュース」キャスター
池上 彰

山口県はどこにある？

「この前、山口県の字部に行ってきてね」
「ふーん、山口県って、どこにあるんですか？」
「・・・」

行きつけの美容院で、美容師との会話です。思わず絶句してしまいました。日本の47都道府県がどこにあるのか、小学校で学習しているはずなのですが、自分にとって縁のない地方のことになると、大人でも意外に知らない、というのが現実のようです。

先日も、あるテレビ番組で、通行人に九州の白地図を見せて、「それぞれの県名を記入してください」と頼む企画を放送していました。次々に、とんでもない答えが登場します。



帝国書院『中学校社会科地図 最新版』

四国の県名が紛れ込んだりして、みんなが如何に地理に疎いかを笑ってしまおう、という番組でした。

この番組の制作者は、世の中には都道府県の名前があやふやな人がどれだけ多いかを笑い飛ばそうとして企画したのでしょう。でも、意外に聴取者の多くが、「うん、うん、こんな県の名前、知らないよな」と、回答者に同情していたのではないか、と私は思うのです。

まして、これが世界のことになると…。イラク戦争があっても、イラクとイランを混同する人がどれほどいることか。

地図をいつも見ている人は、方向感覚も地名もまったくわからない人たちが大勢存在することを、つい忘れるがちです。「地図がよく読める自分は、世の中の変わり者なのかも知れない」という認識を持っていたほうがよいと思います。世間の人の多くが、都道府県の場所も方角もわからないのだ、という事実を知っておくと、教師としての説明も、自ずと異なってくることでしょう。

日本はなぜ「極東」なのか

かく言う私は、地図が大好きです。それも、ふだん見慣れている地図ではないものを探し出すのが趣味なのです。

たとえば、私たち日本人が見慣れている世界地図。真ん中に赤く塗った日本列島があるのが、当たり前になっています。でも、ヨーロッパの国の世界地図を見ると、日本は地図の東のはずれにあります。外国で出版されている世界地図を見た人が、「日本が赤く塗ってない！」と驚いているのを目撃したことがあります、当然のことですね。

イギリスの世界地図では日本が東のはずれにあるのを見れば、「そうか、極東という言葉はここから来たのか」ということもわかります。

中東は、日本から見れば西にある地方なのに、なぜ「中くらい東」という名前になったのかも、この地図でわかります。

中東と極東の間は、どうなっているんだろう、と地図を見ると、そこにはインド亜大陸が。そ



帝国書院「新詳高等地図 最新版」

か、イギリスから見れば、かつて植民地にしていたインドが「本当の東」で、それを基準に極東や中東という呼び名をつけたのだ、と推理できます。

「地理的概念ではない」？

極東という言葉は、安保（日米安全保障条約）をめぐる論議で登場します。日本に駐留しているアメリカ軍は、日本ばかりでなく、「極東における国際の平和及び安全の維持に寄与」するために日本に駐留していることになっています。こうなると、この「極東」とは、どの地域のことをさすのか、ということになります。「極東」で紛争が発生した場合、日本に駐留しているアメリカ軍は、その紛争に介入することになるからです。

の周辺」という「地理的概念」ではなく、「事態の性質に注目するもの」というのです。さあ、わけがわからなくなりました。「極東」という言葉ひとつをとっても、そこからさまざまな話に発展します。

イスラエルが存在しない地図も

中東と言えば、「中東問題」です。この場合の「中東問題」とは、イスラエルとパレスチナの争いのことですね。イラクだって中東に位置しているのですが、イラクをめぐる問題は、とりあえずは「中東問題」とは呼びません。これも不思議な気がしますが、「中東問題」のほうが歴史が古いというわけでしょう。

とりあえずは、「極東」に朝鮮半島が含まれることはわかります。では、台湾は？という疑問が生まれます。過去の日本政府の国会答弁では、台湾が含まれることになっています。では、フィリピンは？

どうも、そこまでは入らないようです。「極東」という漠然とした用語を国際条約に使ったため、解釈をめぐって混乱が発生しているのです。

解釈をめぐると言えば、「周辺事態法」をめぐる国会論議で、政府は「この周辺事態とは、地理的概念ではない」と説明しました。「周辺事態」といっても、「日本



帝國書院『新詳高等地図 最新版』

この中東の国イランで発行されている世界地図を見ると、イスラエルという国が存在しません。イスラエルのあたりには、「パレスチナ」と表記してあります。パレスチナのことですね。イランという国は、イスラエルの存在を認めていません。ユダヤ人がパレスチナを不正に占領している、という認識です。このため、世界地図も、自国の主張通りに製作している、というわけです。

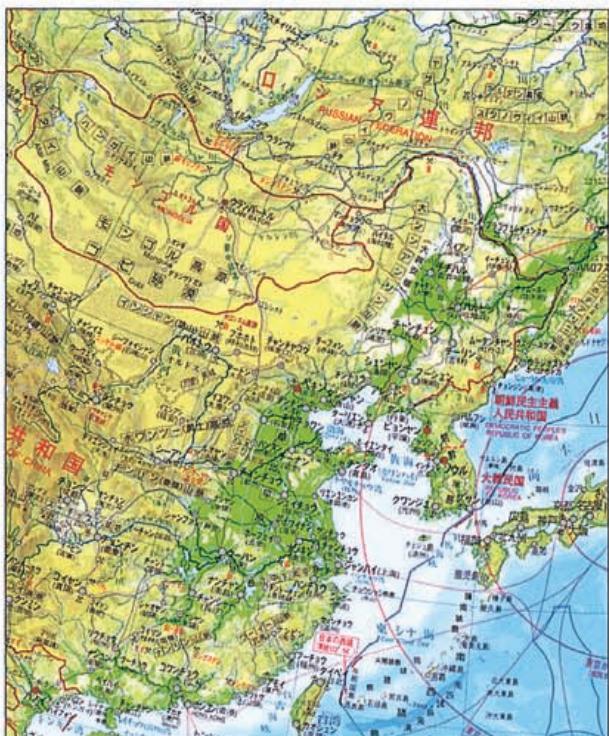
イランの首都テヘランには、エジプトのサダト大統領を暗殺した犯人の名前をつけた通りがあります。サダト大統領は、1979年、イスラエルの存在を認める決断をし、そのことが原因で、2年後に、イスラエルとの和平に反対する軍人たちによって暗殺されました。イスラエルを認めないイランは、サダト暗殺犯を英雄として讃え、その名前を通りにつけたのです。

しかし、2004年になって、イランとエジプトは関係改善に動き、イランは、通りの名前を変えることになりました。地図は、発行された国のことによって変わっていく、というひとつの例です。

モンゴルを「中華民国」から削除した

政府が方針を変えると地図が変わる、という例としては、台湾もあります。

台湾は、中華民国と名乗っています。大陸にあ



帝國書院『新詳高等地図 最新版』

る中華人民共和国は、「台湾は中華人民共和国の一部の台湾省にすぎない」と主張して対立していることは、ご承知の通りです。この台湾で発行されている「中華民国全図」には、中国大陸も含まれています。そればかりか、2002年まではモンゴルまでが「中華民国」の一部と表記されていました。モンゴルの人が台湾に行こうとすると、バス

ポートが使えませんでした。パスポートは外国に行くときに使うもの。モンゴルは中華民国の一部だからパスポートは必要ない、という理屈でした。その代わり、台湾はモンゴル向けに「入境証」を発行していました。

しかし、今ではこれはフィクションです。これが台湾の議会で問題になり、2002年9月から、モンゴルは独立国として扱うことになりました。現在台湾で発行されている地図では、モンゴルが中華民国からはずれています。

中国とインドの国境線はどこ？

中華人民共和国で発行されている世界地図も、政府の言い分を反映しています。

台湾は、もちろん「台湾省」です。

ほかにもあります。日本で発行されている世界地図（まあ、要するに帝国書院が出している地図帳のことですが）には、インドと中国の国境線が、2か所で二重の点線で表記されています。インドと中国は、国境をめぐって戦争をしたこともあります。中印戦争です。国境線が確定していないの

です。このため第三者の日本としては、それぞれの言い分の国境線を実線ではなく点線で表記し、確定していないことを示しています。

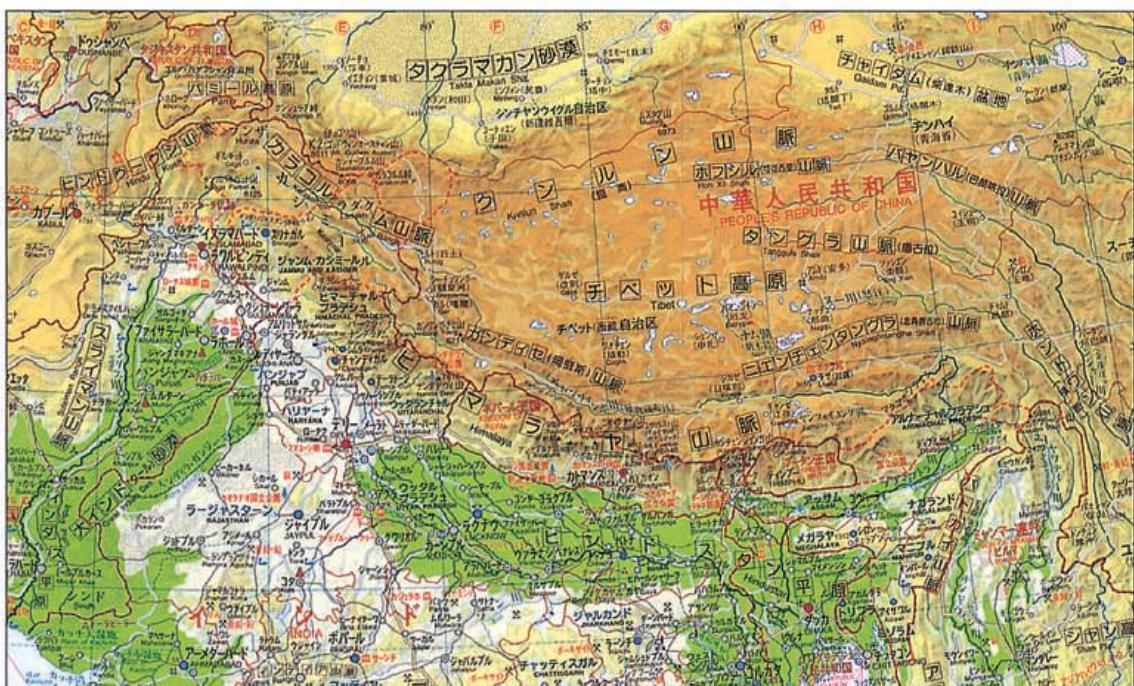
中国の世界地図では、二重の点線のインド寄りのほうが、国境線になっています。

しかし、このところインドと中国は歩み寄りを見せ、国境線の確定についても話し合いを始める様子を見せてています。日本の地図帳で、両国の国境線が実線で示される日も近いかも知れません。その場合、帝国書院は改訂版を発行することになるのでしょうか。

ただ、国境線でも、インドとパキスタンの間は、簡単にはいきません。こちらはカシミールの領有権をめぐって3回も戦争をしたことがあり、対立感情は、なかなか消えそうもありません。当分は、この両国間の国境線の二重の点線が存在し続けることになりそうです。

北方領土はどこのもの？

世界地図が、それぞれの国の政府の方針で異なるのなら、中国の世界地図に、北方領土はどう表



帝国書院「新詳高等地図 最新版」

記されているのでしょうか。

中華人民共和国で発行されている世界地図で、北方領土は日本の色に塗ってあります。中国は、日本の主張を認めているのです。「中国は日本の味方をしてくれているのだ」と単純に喜ぶわけにはいきません。中国側にも思惑があるのです。

中国は、かつてソ連と、領土問題をめぐって対立していました。両国の境を流れる川の中の島がどちらに所属するのかをめぐって、軍隊同士の衝突にまで発展し、死者が出ています。領土問題をめぐって「敵」であるソ連と領土問題で対立している日本は、「敵の敵は味方」。そこで、日本の言い分を認めているのです。「敵の敵は味方」という単純な論理は、国際政治につきものです。中国と対立していたソ連は、中国と対立していたインドを支援しました。中国は中国で、インドと対立していたパキスタンを応援しました。

イランは、かつてアメリカの友好国でしたが、1979年のイラン革命で反米政権が成立すると、アメリカは一転して、イランと敵対関係にあるイラク支援に回ります。

反イランの立場からイラクを支援しているうちに、イラクにはフセイン大統領という独裁者が育ってしまいました。

ちなみに、アメリカで発行されている世界地図でも、北方領土はロシアの色になっています。日本の言い分が、アメリカに届いていないことをうかがわせます。

アメリカの隣のカナダの世界地図では、日本とロシアの言い分を、併記しています。

「日本海」「東海」？

日本が領土問題で対立しているのは、ロシアだけではありません。韓国もそうですね。日本海に浮かぶ竹島は、日本の言い分では「島根県隠岐郡五箇村竹島」になるのですが、韓国に言わせると、韓国の「独島」(トクト)ということになります。韓国は、「独島」の切手まで発行し、日本政府が抗議すると、韓国民の間で「独島の切手を買おう」

という運動が盛り上がり、切手はあっという間に売れてしまいました。

領土問題で日本と対立しているわけですから、韓国で発行される世界地図で、北方領土はロシアのものに表記されています。

その韓国は、このところ、「日本海は日本の海ではない」と主張しています。日本と韓国の間の海は、国際的に「日本海」という表記が定着していますが、韓国は、「ここは東海（トンヘ）だ」と主張し、国際社会に対して、表記を変更するよう求めています。

そうは言っても、日本からみれば、ここは決して「東の海」ではありません。島根や鳥取から見れば「北海」であり、秋田から見たら「西海」になるからです。

そう言えば、イランとサウジアラビアの間にある湾はペルシャ湾と呼ばれます、サウジアラビアは、「ここはアラビア湾だ」と主張しています。

地図の「上」は北とはかぎらない

こうやって見ると、世界の国々は、それぞれの言い分を地図に反映させていることがわかります。

そんな自国中心主義ばかりではいけないのではないか、と反省させてくれる世界地図が、オーストラリアで売っています。南北を逆さまにした地図です。

この地図を見ると、オーストラリアも逆立ちしていますが、世界の上に君臨しているように見えます。

ここには、注釈として、「上が南だってよいではないか」という意味のことが書いてあります。おっしゃる通り。私たちは、「地図の上は北」と思い込んでいますが、上が南だっていいのです。

この地図は、世界の国々が自分たちの都合のよいような地図を作っていることを皮肉っているのです。

でも、これを見ると、日本列島というのは、ユーラシア大陸側から見て、まさに弧を描いている



逆さに眺めてみると

帝国書院「新詳高等地図 最新版」

ことがよくわかります。ユーラシア大陸と日本列島の弧の間にある日本海は、「内海」なのだ、というイメージが喚起されます。日本海沿岸の地方や諸国が交流を深めていこうという「環日本海経済圏」の発想が生まれてきたことが、よくわかります。

たまには宇宙からも世界を見てみよう

ヨーロッパの道路地図帳を買って見ていると、道路の表示ははっきりしているのですが、国境線は薄くてわかりにくくなっています。ヨーロッパがEUというひとつのまとまりになったことで、国境を気にせずに、どこでも自動車で行けるようになった現状が反映されていることに気づきます。

宇宙から撮影した地球の写真を世界地図にしたものもあります。これを見ると、いつも見慣れている国境線が一切ありません。実にあたりまえの

ことなのですが、もともと地球には国境線などなかったのだ、人間が勝手に引いただけのものなのだ、ということを思い出させてくれるのです。

宇宙から見た世界地図では、世界は砂漠と緑の2色に分けられます。アフリカのサハラ砂漠。中東のアラビア半島。中国奥地に広がる砂漠。オーストラリアの内陸に広がる砂漠地帯。世界には、これほどまでに砂漠が多かったのだ、ということに気づきます。

その一方で、南米に広がる深い緑。アマゾン川周辺では熱帯雨林が伐採され、自然破壊が進んでいると報道されていますが、宇宙から見るかぎり、まだまだ深い緑が存在します。

そして、日本列島。深い緑の島です。地上にいると、そこかしこに自然破壊の証拠を見てしまうのですが、宇宙から見れば、まだ自然が豊富なのだと思うと、なんだかほっとします。美しい自然を守ろう、という気持ちにもなってきます。

世界の各国は、それぞれの勝手な主張にもとづいて世界地図を作っているのですが、宇宙から見れば、「世界はひとつなのだ」という単純な事実に気づかされるのです。

世界には、実にさまざまな考え方があること。それを知ったうえで、でも、宇宙から見た地球のこと、どこかで忘れないようにする。そんな2つのことが必要ではないか、と私は思うのです。



帝国書院「中学校社会科地図 最新版」